

里親制度「知る」から「できる」へ

子どもたちのために私にできること

里親制度とは、親の病気や虐待等のさまざまな理由で親と一緒に暮らすことができない子どもを、温かい愛情と正しい理解で育てていく制度です。区は、令和2年4月の「(仮称)荒川区子ども家庭総合センター」の開設に向け、里親の普及啓発・募集を行っています。

現状を知ろう

現在、全国で家族と離れて暮らす子どもは約4万5000人います。そのうち、里親家庭で暮らしている子どもは約7000人で、その他の子どもは乳児院や児童養護施設等で暮らしています。

大切さを知ろう

家庭での生活を通じて、養育者との愛着関係の中で養育を行うことにより、子どもの健全な育成につながります。

関心を持とう

里親制度について関心を持ち、正しく理解しましょう。里親家庭を地域の中で温かく見守っていくことが大切です。

里親制度を詳しく知っていただくため、月1回、個別相談会を開催しています。詳細は、お問い合わせください。

問合せ 子育て支援課児童相談所準備担当 ☎内線3842

令和元年度荒川区議会定例会・11月会議が開かれます

令和元年度荒川区議会定例会・11月会議は、11月27日(水)～12月10日(火)の会議期間で開かれる予定です。

この11月会議では、区政全般にわたり、議員から区長等に対して質問をするほか、条例等の議案を審議する予定です。

※本会議・委員会は傍聴できます。車いすを利用する方の傍聴席もあります
※本会議の開始時間は、午前10時からです

問合せ

議会事務局議事係 ☎内線3614

ヒアリにご注意

ヒアリは、特定外来生物に指定されている外国原産のアリで、刺されるとアレルギー症状が引き起こされることがあります。

現在、区内では生息が確認されていませんが、10月に都内のふ頭で、多数の生息が確認されています。

特徴・生態

- 体色は赤褐色、腹部が暗色
- 公園や農耕地等の開けた場所に巣を作る
- 攻撃的で、集団で攻撃する

働きアリ

体長2.5～6mmで一番数が多いアリです。



女王アリ

体長7～8mmで羽化したときには翅があり、交尾後には翅を落とします。



雄アリ

体長5～6mmで体は黒っぽく翅があります。



発見した場合

毒を持つため、触らないでください。刺激せず、発見した日時・場所・状況をご連絡ください。

刺された場合の症状

- ◆ 毒による激しい痛みがあり、水疱状に腫れる
- ◆ 毒に対するアレルギー反応(アナフィラキシーショック)が起こることがある

刺された場合の対処

毒への反応は体質によって異なります。体調に変化がなくても、20～30分は刺された部位をタオル等で冷やしながら安静にしてください。容体が急変する場合がありますので、複数人で状況を確認し、症状が悪化した場合は救急車を要請する等、すぐに医療機関を受診してください。

問合せ 環境課環境推進係 ☎内線482

犬を飼育するときに知っておくこと



平成30年度は、区内で犬が人をかむ事故の届け出が4件ありました。散歩時には、犬が思わぬ行動をとることがあるので、犬の様子や周囲の状況に注意してください。

問合せ 生活衛生課管理係 ☎内線422

飼い主として必ず行うこと

- ▶ 飼い犬の登録をして、鑑札の交付を受ける(生涯1回)
 - ▶ 狂犬病の予防接種と、注射済票の交付を受ける(年1回)
 - ▶ 鑑札と注射済票を首輪等に付ける ▶ 引っ越しや犬の死亡時に届け出をする
- ※登録手続き等詳細は、荒川区ホームページをご覧ください

散歩時に注意すること

- ▶ 必ず首輪・リード(引き綱)を着用させ、破損がないか確認する
- ▶ リードは長さを調整し、犬を確実に制御できる人が持つ(伸縮自在のリードは使用しない)
- ▶ 自転車に乗ったままでリードを持ち、犬を散歩させない(東京都道路交通規則第8条に違反し、5万円以下の罰金が科せられます)

犬の排せつについて注意すること

- ▶ 排せつは散歩前に済ませるとともに、ふんを持ち帰る袋・尿を洗い流す水・消臭剤等を携帯する
- ▶ 散歩中に排せつをした場合は飼い主が必ず後始末をし、ふんは自宅に持ち帰り処分する

飼い犬が人をかんでしまったら

- ▶ 応急措置に努め、誠意を持って被害者に対応する
- ▶ 犬を落ち着かせて隔離する
- ▶ 必要に応じて、警察に連絡する
- ▶ 24時間以内に生活衛生課に届け出る
- ▶ 48時間以内に犬を動物病院へ連れて行き、狂犬病の有無について診察を受ける

災害に備えて

ペットと安全・安心に避難するため、準備をしておきましょう。

- ▶ 普段から、人やほかの動物を怖がらないようにする・無駄ばえをしない・嫌がらずにケージに入る・トイレは決められた場所とする等のしつけをする
- ▶ 動物のための防災用品(5日分以上の餌と水、ケージ等)の用意をする

